

漢方薬の畜産現場への 応用法の開発

震災復興シンポジウム
2014年2月20日（木）
郡山ビューホテルアネックスにて

株式会社
田村薬草農場グループ

開発の背景： 畜産農家の課題と現状（1）

経営環境に関する課題

- ・ 輸入飼料の高騰
- ・ 最終製品の販売価格の低下

飼育に関する課題

- ・ 受胎率の低下
- ・ 疾病対策



農家経営の逼迫

大規模経営化で解決を図る？

開発の背景： 畜産農家の課題と現状（2）

大規模農家経営のメリット/デメリット

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none">・ 人件費の削減・ 作業の効率化	<ul style="list-style-type: none">・ 観察時間の減少・ 病気蔓延リスクの増大 疾患率悪化により治療費増 発情率低下による受胎生成期低下

コスト削減の達成

大きな損害発生リスクの増加

大規模経営化のみでは解決とはならない

新たな飼育管理法が必要！

甘草を使った飼育管理法の開発（1）

ヒトにおける甘草（生薬：局法掲載）の作用



- 抗ストレス作用
- 肝臓における解毒作用の強化
- 抗炎症作用
- 抗アレルギー作用
- 抗ウイルス作用
- 鎮痙作用
- 鎮咳作用
- 抗ガン作用 等様々

飼育管理に使えるのではないか

甘草を使った飼育管理法の開発（2）

弊社のこれまでの取り組み

（1）飼育管理開発の実績（産学連携で実施）

繁殖障害改善

1. ホルモン剤様作用
2. 性ホルモン分泌促進作用
3. 受胎率向上
4. 精子活性能向上
5. 精子奇形率減少
6. 乗駕行動の誘発
7. ホルモン剤使用率の大幅な低減

免疫能力向上

8. 粘膜免疫抗体
産生能の向上
9. 強肝作用
10. 抗炎症作用
11. 免疫賦活作用
12. カビ中毒に対する耐性
13. 慢性下痢に対する効果

一般生理能力改善

14. 生乳生産能の向上
15. 毛艶改善
16. 食欲増進
17. 虚弱体質の改善
18. 攻撃性の低下
19. ストレス軽減
20. 病気予後の
回復速度の向上
21. IGF-1分泌能向上
22. 子牛の下痢予防

現場での臨床試験など

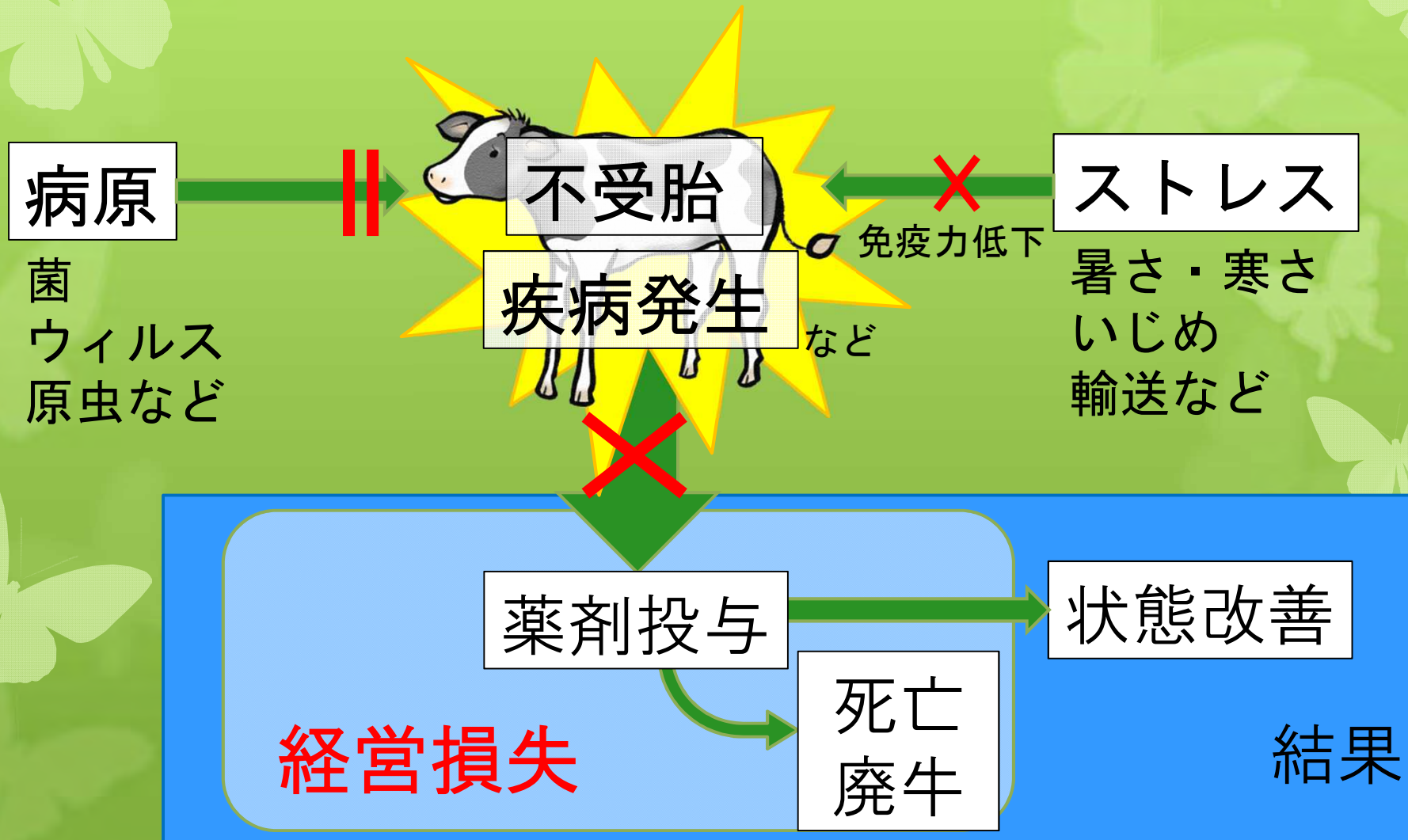
岩手大学、北里大学、酪農学園大、臨床獣医、他

（2）甘草の輸入調達

中国、中央アジア他に独自ルート開拓

甘草を使った飼育管理法の開発（3）

弊社の目指す甘草を使った飼育管理法



甘草を使った飼育管理法の開発（４）

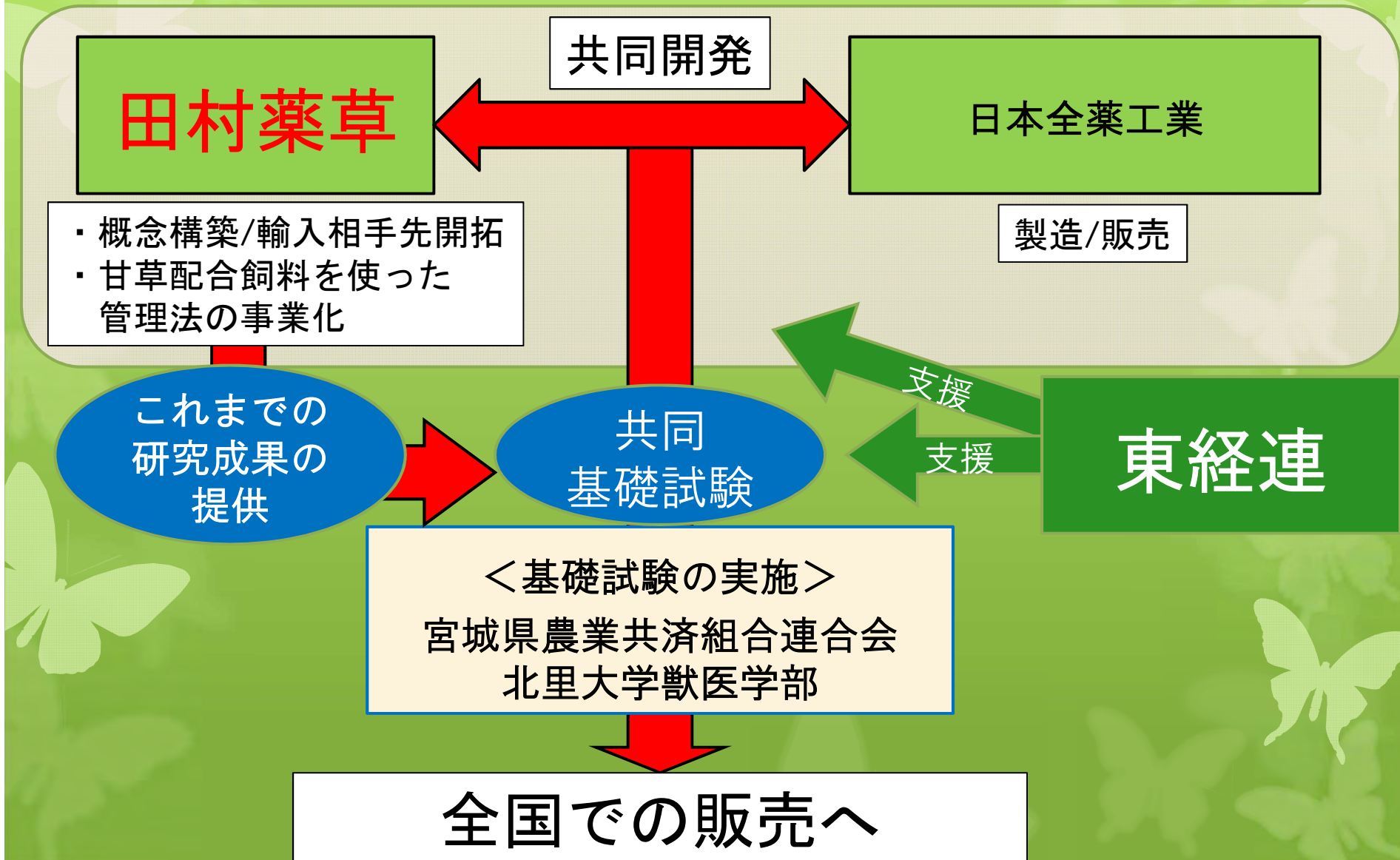
弊社の提案する
甘草を使った飼育管理法で可能となる事

甘草ペレットを給与することで、

- **病気やストレスに強い、
健康的な体作りを実現する！！**
- 家畜の状態改善による、
治療費負担の低減と受胎率向上

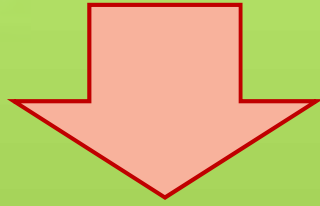
甘草を使った飼育管理法の開発（5）

甘草配合飼料の共同開発体制



甘草ペレットの実用化

日本全薬工業と提携、全国へ販売開始（2/17～）



＜今後＞

- ① 本ペレットを使った新しい飼育管理法の提供
- ② 原料の国産化の検討



【従来の管理法（西洋型管理法）】

（１）従来の管理法とはどのような管理法なのか

- ・ 発症した症状に対して診察を行い、薬剤を投与、改善を試みる方法。
- ・ 発症前の事象には、対応しない。

（２）西洋型管理法の長所

- ・ 発症した症状に対する**効果が分かりやすい**。
 - ・ 対応が適切であれば、十分な効果が得られる。
 - ・ 従来の方法として既に農家のルーチンワークに組み込まれている。
- ⇒多くの説明を必要としていない。

（３）西洋型管理法の問題点

- ・ 複数の要因が重なる病状に対して正確な治療を行うことが難しい。
- ・ 診察費や薬剤費などの**経済的コスト**、
獣医師に対応しなければならない**時間的コスト**への**農家の負担が大きい**
- ・ 大規模化により、**症状の発見率低下の可能性**

【提案する東洋型管理法について】

（１）東洋型管理法の全体のフレームワーク

- ・ 予め、問題が起こりにくい**健康的な個体の産生を補助**する。
 - ・ 甘草を予防薬的に用い、症状を出させない事に努める。
- ⇒症状が出てしまった場合でも、
ホルモン剤や抗生物質を多用するのではなく、
少ない量での十分な効果の発揮、早期回復などを補助する。

（２）従来の管理法との違い

- ・ 症状に着目するのではなく、**健康的な体作りを実現する。**
- ・ **生理機能強化、ストレス耐性向上、免疫力向上**等に
予防的にアプローチする事で、**未病を防ぐ。**
- ・ 治療薬ではないので、農家が簡便に予防のために使用することが出来る。

（３）東洋型管理法により解決される課題

- ・ 経営コスト削減（診察代、薬剤代、対応時間代、死廃の損失など）
- ・ 大規模化ゆえの問題点の解決を補助する。
**農場の大規模化に伴う観察時間の減少に伴う疾病の発生率を緩和、
発情発見率の向上**など
- ・ 大型動物専門の獣医師の減少傾向に対して、獣医師の負担を減らす。

甘草ペレットを用いた 新しい飼育管理法へ向けて（1）

甘草ペレットで
病気や障害に
強い体作り

要因

提案する新飼育方法
東洋型飼育管理方法

生理機能障害
ストレス、病原

従来の治療の流れ

下痢
風邪

不受胎

現象
(病状)

下痢
風邪

不受胎

下痢止め
抗生物質

ホルモン剤

治療

発生率の抑制

薬剤使用率低減

甘草ペレットを用いた 新しい飼育管理法へ向けて（２）

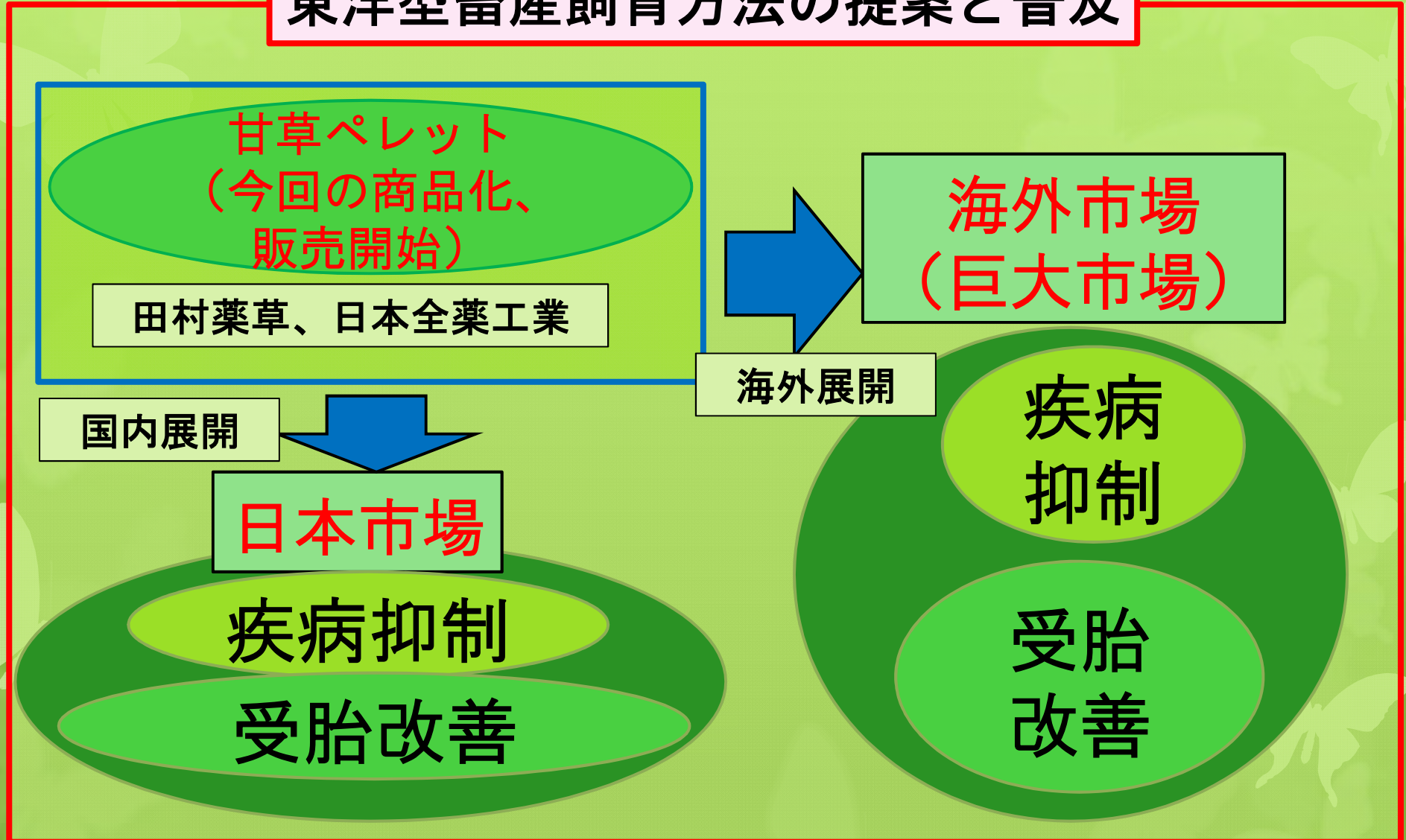
弊社が提案する新しい飼育管理法
（東洋型飼育管理法）の特長の再確認

アプローチの場所の考え方の違い
→ 予め病気になりにくい個体づくりの補助

牛の**健全性を高め、**
様々な**炎症性疾患の予防**
および**治療時の補助療法として活用**

開発成果の製品化と将来の展望

東洋型畜産飼育方法の提案と普及



海外も日本の従来の畜産飼育と同様の方法→当製品が展開する機会がある

現在取り組んでいる新しい事業

東経連

復興庁

田村薬草

福島大学

福島県酪農業
協同組合

甘草の畜産への応用方法の模索